

特定非営利活動法人遠隔地域集落の自立可能性に関する実験的研究推進機構
研究会報告

テーマ:「電力が完全遮断された状況下においても長期間運用可能なソーラー蓄電システムの運用実績と実用性について」

日時: 令和1年12月7日(土)16時から17時

場所: 東京ファッションタウンビルクリニック

内容について、

- ①売電型ソーラーシステムと蓄電型ソーラーシステムの電気的特性および機器構成の違いについて
- ②実際の各種製品の動作実演
- ③平常時の運用から災害時に対応したシステムへの変更方法について
- ④オフグリッド発電蓄電システムを展開した被災地での活動例の紹介
- ⑤災害時救急診療への応用の実際例
- ⑥バッテリー以外の蓄電技術のアイデアについて
など、学会発表演題の紹介も含めて討論を行ないました。

災害時の基本インフラのひとつである電力を確保することは、生活の場および災害医療現場で今後
も重要な役割を果たすと考えられました。

熱心なご討論ありがとうございます。